



白川の風

ふるさと茶屋情報誌
2012年秋号 vol.42

今年の夏も猛暑の連続と長い残暑、また節電に協力しむとまゆ暑かったように感じます。ここ白川でも最近ようやく秋の気配が感じられるようになりましたが、皆さまお住まいの地域ではいかがでしたか？さて、秋の気配も日ごとに深まり、お茶の旨みもだんだん増してきます。ここの季節にはますます白川の熟成銘茶が一番です。さわやかな秋のくつろぎのひとときをお茶とともに過ごしてください。

茶畑日記

夏から秋に、来年の新茶のために大切な茶畑の手入れ

1年前の9月20日、この地方は昭和43年以来の大雨に見舞われました。この大雨により茶畑へ続く道路や茶畑の法面が崩壊する被害を被りましたが、災害復旧工事も進み、元の姿へと戻りつつあります。一部の茶畑では重機や工事車両が通るために茶樹を根本から切り、こしまいましたが、見事な回復を見せています。また、夏場の高温と雨不足により茶樹の樹勢への影響も心配しましたが、平年並みかそれ以上に立派な秋芽が育ちました。

茶畑での作業は猛暑の中での草取りや雑刈り、昨年からの肥料として取り入れた胡麻粕(ごま油の絞りかす)の散布が行われました。これからの時期は茶畑の法面が大きく成長したススキの刈り取りと茶畑への敷き込みが予定されています。

朝晩はずいぶん涼しくなりましたが、まだまだ日中は暑い日が続くなかで、来年の新芽を育む茶樹づくりに励んでいます。



手作業による広い茶畑の草取り



肥料の散布



6月29日

3ヶ月近く大きく育ちも出揃い成長した茶樹



9月18日

茶樹の生命力はすごい!!



木陰でひとやすみ

暑さが残る中での作業。楽しみはやはりはずも然しと心なごむ。一杯のお茶はお茶は元気の源です!



ぎふ清流国体・炬火リレーが開催

7月16日から9月12日までの間、県内42市町村でぎふ清流国体の炬火リレーが行われました。

白川町はそのうち2日間、地元の黒川へも2日目の8月7日に迎えて来ました。この日は5日に開通したばかりの黒川東白川トンネル、黒川小学校などを経て、町内最終地点となったますぶち園近くの歌舞伎小屋「東座」でゴールとなりました。

猛暑の中、町民250人の走者で炬火がつながれ、沿道や中継地点では子供からお年寄りまで幅広い年代の方々が小旗を持って大声で声援を送っていました。地域が一体となった取り組みに、走者を始め関係者や応援に集まった人たちがみな満足の笑顔でした。

2日間で町内25区間25kmを250人でつないだ炬火リレーは無事終了し、次の加茂郡富加町へと引き継がれました。このリレーでつないだ炬火により、9月30日から開幕となるぎふ清流国体も大成功につながることでしょう。



33-1515E 78173-1



走り終え、笑顔でポーズ!!